

浜松市

精神障がいの有無にかかわらず、住み慣れた地域で希望を持って安心して暮らすことができる浜松

浜松市では、精神障がいにも有無に関わらず、安心して地域で生活ができるよう、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会を令和2年10月に設置しました。
当事者同士、支援者同士、当事者と支援者同士をつなげる、つながる地域を目指しています。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

浜松市



取組内容

- ・「浜松市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会」を設置し、代表者会議を開催（年2回）
- ・各ワーキングの取組み内容や研修会等の企画や助言を行う企画会議の開催（年6回）
- ・事務局会議（年6回）
- ・地域連携ワーキング（H30～毎月）
- ・ピアワーキング（R2～毎月）
- ・実態調査ワーキング（R4～R7 毎月）
- ・アウトリーチワーキング（R1～R3 毎月）
- ・住まい方ワーキング（R1～R3 毎月）

<基本情報入力シート>

自治体名（記入してください）

浜松市

（※「■網掛け」部分及び「●」部分に半角数字で入力してください）

障害保健福祉圏域数（R8年4月時点）		1	か所
市町村数（R8年4月時点）		1	市町村
人口（R8年5月時点）		775,609	人
精神科病院の数（R8年4月時点）		10	病院
精神科病床数（R8年4月時点）		1,494	床
入院精神障害者数 （R6年6月時点）	合計	1,341	人
	3か月未満（％：構成割合）	362 27.0	人 ％
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	246 18.3	人 ％
	1年以上（％：構成割合）	733 54.7	人 ％
	うち65歳未満	245	人
	うち65歳以上	488	人
	入院後3か月時点	69.7	％
退院率（R2年6月時点）	入院後6か月時点	83.1	％
	入院後1年時点	85.4	％
	心のサポーター養成者数	30	人
相談支援事業所数 （R8年5月時点）	基幹相談支援センター数	1	か所
	一般相談支援事業所数	16	か所
	特定相談支援事業所数	52	か所
保健所数（R8年4月時点）		1	か所
（自立支援）協議会の開催頻度（R8年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	2	回／年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R8年4月時点）	都道府県	有	1 か所
	障害保健福祉圏域	無	/
	市町村	有	1 / 2 か所／市町村数

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会（代表者会議）

※活動に対する評価

事務局会議

企画会議

地域連携ワーキング メンバー9人（精神科病院：NS、OT、PSW、委託相談、計画相談、基幹相談）	長期入院者等に対する事例検討会を実施 市内精神科4病院と地域援助事業者を対象とした「事例共有会」を開催予定。
・ピアワーキング メンバー概ね7人（当事者、計画相談） ・あすなろ会 概ね4～5人（当事者）、概ね2～3人（支援者）	ワーキングメンバー7人で、ピア活動について議論を本格的に開始。令和2年から設置している当事者グループ「あすなろ会」と情報共有している。
精神障害者等地域訪問支援（アウトリーチ）事業 メンバーは医療機関1、2人と保健所1人	精神科での治療中断者や精神障がいの疑いがある未治療者で、既存の支援体制では必要な支援につながらず地域社会での生活が困難な人を対象。原則6か月、月1、2回の訪問を実施している。
入院者訪問支援事業 訪問支援員2人	現状、市長同意で入院中の希望者へ訪問している。今後、対象者を拡充予定。

- ・平成26年度 「退院促進支援事業」開始
- ・平成27年1月～平成29年2月 自立支援協議会の専門部会として地域移行部会を設置・運営
- ・平成29年9月～平成31年2月 自立支援協議会の専門部会として地域移行・定着部会を設置・運営
- ・平成29年度～令和2年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業の参加
- ・平成31年度 自立支援協議会の専門部会として「退院して地域で暮らそう部会」を設置・運営
- ・平成31年度～精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の国庫補助申請
- ・令和2年10月～「浜松市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会」を設置

＜R7年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (昨年度当初)	実績値 (昨年度度末)	具体的な成果・効果
①代表者会議	2回	2回	地域における課題の共有、目標設定、事業全体の評価・見直しについて協議を行った。
②研修会	1回	1回	「多職種連携のための支援者連携研修会」を開催し、顔の見える関係を構築することができた。
③地域連携ワーキング	「事例共有会」を開催	「事例共有会」を開催	事例検討会や事例共有会を開催し、医療機関と地域援助事業者の顔の見える連携ができた。また、それぞれの機関の支援や役割について相互理解が図られ、連携が深まった。
④ピアワーキング	市内ピア交流会の実施	市内ピア交流会の実施 ピアサポート勉強会の開催	・ピアWGでは、先進的な取り組みをしている団体との交流会や市内のピア交流会を開催し、当事者や支援者同士の関係づくりの機会となった。市内ピア交流会では約30人の当事者及び支援者が参加し意見交換できた。 ピアサポート勉強会の28人が参加し、ピアサポートの基礎講座、自己紹介シートの作成、リフレーミングを体験するグループワークを実施した。
⑤実態調査ワーキング	1調査の実施	1調査の実施	「相談機関が把握している未受診・医療中断者に関わる実態」について調査を通して把握することができ、他のワーキングと情報共有できた。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

浜松市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会の代表者会議には、各団体から16人の委員が参加しており、様々な視点での意見を受け、議論を行っている。また、当事者グループ「あすなろ会」も設置しており、当事者の意見を踏まえ活動を検討している。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
医療、福祉、保健の連携	医療、福祉、保健の事例を通じた連携強化	行政	連携の場の調整
		医療	連携の場への参加
		福祉	連携の場への参加
		その他関係機関・住民等	—
ピアサポートの理解促進	当事者と支援者へピアサポートの普及啓発	行政	普及啓発の場の調整
		医療	普及啓発の場への参加
		福祉	普及啓発の場への参加
		その他関係機関・住民等	当事者の体験発表

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (今年度末)	見込んでいる成果・効果
①連携の場の開催	4回	4回	精神科病院と地域援助事業者の連携
②ピア交流会	1回	1回	当事者同士、当事者と支援者同士のつながり
③研修会開催	2回	2回	退院後支援の普及、他機関と連携強化

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

当事者や家族を始め、各団体の代表者が代表者会議に参加している。各ワーキングについても精神科病院や委託相談、計画相談の職員が参加し、検討している。

所管部署名	所管部署における主な業務	連携部署名	連携部署における主な業務
障害者支援課	通報業務	浜松市精神保健福祉センター	ひきこもりや依存症等の特定相談

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	企画会議や事務局会議で浜松市精神保健福祉センターと今後の動きを議論、共有。	強み：所管部署と連携部署で、精神疾患への介入や連携部署が異なるため、情報共有ができる。 課題：メンタルヘルスについて様々な部署との連携
医療	地域連携ワーキングの構成員として市内精神科4病院から各1人ずつ参加。	強み：医療機関の実情を理解できる。 課題：医療と福祉で見解の差がある。
福祉	委託相談や計画相談が地域連携ワーキング、ピアワーキング、実態調査ワーキングへ参加。	強み：地域の視点 課題：医療機関との連携
その他関係機関・住民等	ピアワーキングへ当事者の参加（1名）	強み：当事者の視点 課題：参加できる当事者が限られている。

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	既存の会議体を活用している場合はその名称・課題・強み等
浜松市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会	保健：	2回/年	各ワーキング等からの報告及び評価	R2年度に設置
	医療：			
	福祉：			
	その他関係機関・住民等：			
	保健：			
	医療：			
	福祉：			
	その他関係機関・住民等：			
	保健：			
	医療：			
	福祉：			
	その他関係機関・住民等：			

【その他事項】

※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための 協議の場に関連する会議等の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
企画会議	保健：障害者支援課、精神保健福祉センター	6回/年（奇数月）	現場レベルでの方向性を議論し決定する。	コアメンバーから事業に対する意見をもらい現場に反映させることができる。また、方向性を一致させることができる。
	医療：精神科相談員			
	福祉：基幹相談支援センター、委託相談、計画相談			
	その他関係機関・住民等：宿泊型自立訓練			
事務局会議	保健：障害者支援課、精神保健福祉センター	6回/年（偶数月）	企画会議での検討事項を協議する。	事務局で方向性を一致させることを企画会議での議論がスムーズになる。
	医療：			
	福祉：基幹相談支援センター			
	その他関係機関・住民等：			
	保健：			
	医療：			
	福祉：			
	その他関係機関・住民等：			

【その他事項】

※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

事業利用予定年数：令和7年度まで（通算7年間）**到達目標**
（R○年度まで）

年度	実施内容	具体的な取組
R8年度	協議の場 3つのワーキングを実施	地域連携ワーキング、ピアワーキング、検討ワーキング（下半期に設置予定）
R9年度	協議の場 2つのワーキングを実施	地域連携ワーキング、ピアワーキング
R10年度	協議の場 2つのワーキングを実施	地域連携ワーキング、ピアワーキング

10 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（短期）

到達目標 (R8年度)	1. 事例を通して医療機関、地域援助事業者との連携強化 2. ピア活動の活性化とピア同士のつながりを強化 3. 各機関が相互理解を図り、有機的な連携や顔の見える関係づくりの推進
----------------	---

時期(月)	実施内容	具体的な取組
R8年7月、8月、9月、11月	精神科病院と地域援助事業者との事例検討会を実施	地域援助事業者や精神科病院からの事例提供を受け、連携強化を目的とした事例検討会を開催予定。
R8年7月	多職種連携のための支援者連携研修会	多職種多機関の職員を対象に事例提供しグループワークを行う予定。
R8年6月、9月、12月	ピア勉強会	将来的な体験発表へ向けて、自己紹介シートを用いての勉強会を開催予定
R9年1月	市内ピア交流会	体験発表やグループワークを行う予定。
R9年1月	①事例共有会	事例検討会で検討した事例の紹介、グループワークを行う予定。